

新たな長期計画がスタート

歴史的な年を江東区発展の礎に

令和2年第一回区議会定例会が2月19日から開会されています。会期日程は3月30日(月)までの41日間で、「令和2年度一般会計予算」などの議案について審議されています。開会にあたり、山崎区長は今年1年の所信を表明し、区民の皆さんと区議会に理解と協力を求めました。

区長所信表明(要旨)

令和2年度 予算編成の大綱

日本経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されていますが、通商問題や海外経済の影響、消費税引上げ後の消費者マインドの動向など、先行きを楽観視できる状況にはありません。

こうした経済情勢等を踏まえ、国の令和2年度予算は、消費税増収分を活用した社会保障の充実、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会後を見据えた経済政策の着実な実行、「新経済・財政再生計画」の下、歳出改革の取り組みの継続により、経済再生と財政健全化を両立する予算として編成され、一般会計総額は、前年度比1.2%増の102兆6,580億円で、過去最大の予算規模となっています。

また、都の令和2年度当初予算は、「東京2020大会を確実に成功させるとともに、成長と成熟が両立した、輝ける未来の東京を創る予算」として編成され、一般会計総額は、前年度比1.4%減の7兆3,540億円で、過去最大となった昨年度に次ぐ予算規模となっています。

次なるステージへ みんながつながる飛躍予算

本区を取り巻く財政環境ですが、特別区税は、納税義務者数

の増加や所得環境の改善により、542億9,900万円、前年度比3.0%の増、特別区交付金は、法人住民税法人税割のさらなる国税化の影響により、交付金総額で前年度比10.2%減の549億9,900万円としています。

今後も、ふるさと納税による減収や、地方法人課税の見直しの影響など、中・長期的には先行きを楽観視できる状況ではありません。

こうした中、令和2年度予算は、新長期計画初年度を迎えるにあたり、防災備蓄用ラジオの全戸配布や、災害時に拠点避難所となる区立小・中学校等の停電対策といった災害対策をはじめ、さまざまな施策を積極的に打ち出すほか、東京2020大会の確実な成功に向けて、KOTOスポーツキャラバンや聖火リレーでのセレモニー実施など、区一丸となって取り組む「次なるステージへ みんながつながる飛躍予算」として編成いたしました。

一般会計は、待機児童対策や防災対策などにより、2,132億9,800万円、前年度比3.8%の増となっています。

予算編成にあたっては、持続可能で強固な財政基盤を構築するため、現行事業の必要性とその効果、コストの妥当性と後年度負担について、行政評価結果を踏まえた事業の総点検等を実施しました。

また、区民税等の収納対策、

山崎区長が所信を表明



使用料の改定、民間委託の拡大など、行財政改革にも着実に取り組み、予算に反映しています。

本区の重要課題 地下鉄8号線の延伸

地下鉄8号線の延伸については、昨年3月が東京都による事業スキーム構築の約束期日でした。

また、昨年10月には、私と小池都知事との会談で、知事は「国とメトロとの調整を、現在、都として進めている。延伸の早期実現に向け私自身全力で取り組みたい」と表明したものの、東京都は未だ事業スキームを示していません。

東京都が永年の本区との関係を損なうことなく、確実に約束を果たすよう、区の重要課題として強い意志を示し、一日も早い実現に向け、全力で取り組んでいきます。

7つの重点プロジェクト

①水彩・環境都市づくり

江東区を特徴づける豊かな河川や運河、縦横に位置する親水公園などを効果的に活用し、さまざまな取り組みを連動させることで、水彩都市における賑わいや、うるおいのある生活を実現するとともに、温暖化対策など環境負荷の少ないまちの形成・実現に向けた取り組みを、効果的かつ継続的に推進していきます。

②未来を創るこどもを育むまちづくり

未来を担うこどもたちが健やかに成長できる社会の実現に向け、妊娠・出産期の支援体制から、就学前の教育・保育環境の充実や保護者のサポート、学校